

審 議 事 項

			頁
審議事項			
1 委員会関係	提案1	医師の専門職自律検討委員会の設置及び設置要綱の決定	1
2 国際関係	提案2	AASA創立10周年記念式典への会員の派遣	6

1	
幹事会	108

提 案

医師の専門職自律検討委員会の設置及び設置要綱の決定について

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 (1) 日本学術会議会則第十六条の「課題別委員会」として「医師の専門職自律検討委員会」を置くこと。
(2) 「医師の専門職自律検討委員会」設置要綱について、別紙のとおり決定すること。
- 3 提案理由(1) 別紙設置提案書のとおり
(2) 日本学術会議会則第十六条の「課題別委員会」として提案した委員会の設置に当たり、設置要綱を定める必要があるため。

平成 22 年 10 月 12 日

日本学術会議会長殿

課題別委員会設置提案書

日本学術会議が、科学に関する重要事項、緊急的な対処を必要とする課題について審議する必要があるので、日本学術会議の運営に関する内規第 11 条第 1 項の規定に基づき、下記の通り課題別委員会の設置を提案します。

記

1. 提案者 金澤一郎（会長）

2. 委員会名 医師の専門職自律検討委員会

3. 設置期間 平成 22 年 10 月 14 日（幹事会承認日）から平成 23 年 9 月 30 日

4. 課題の内容

（1）課題の概要

医療に対して「量的保障」だけでなく「質的保障」が必要とされるのは、先進国共通の国民的要求であるが、日本においてはそのための医療の提供体制の整備が遅れており、多くの地域で病院医療が機能不全に陥るなど、問題は深刻化の一途を辿っている。

このような事態に対して日本学術会議は、平成 20 年 6 月に「要望 信賴に支えられた医療の実現 - 医療を崩壊させないために」を取りまとめ、医療者、政府、国民のそれぞれが行うべきことを明らかにするとともに、本年 4 月に公表した「日本の展望 - 学術からの提言 2010」においても、現状の改革が急務であることを訴えた。

しかし、日本の医療が危機に瀕していながら、必要な対策が講じられてこなかったことの背景には、すべての医師の声を集約し医療の質の向上のための建設的意見を発出できる組織がこの国には存在していないという、もう一つの問題がある。この問題について、前述の要望等では明示的に取り上げることがしなかったが、行政の役割が、現実には、所与の枠組みを前提として、多様な利害関係者の表層的な調整に留まることが多い状況に鑑みても、その本質的な重要性は明らかである。

現代の日本に相応しい医師の自律的な専門職能団体の在り方を明らかにし、それを実現するための具体的な方策を提案することが、本委員会が審議すべき課題である。

（2）審議の必要性和達成すべき結果

（1）で述べた課題に関して、本年 2 月に臨床医学委員会の下に設置された「医師の専門職自律に関する分科会」は、この 10 月に「全員加盟の医師専門職能団体の必要性について」と

題する提言案を取りまとめた。そこでは、医療の倫理性の確保のための医師の自律的な懲戒権、医師の生涯教育機能、医療のあり方に関する提言機能、医療に関する調査・情報収集機能を備えた、医師の全員加盟による新たな専門職能団体の設立の必要性が述べられている。

しかし、新たな専門職能団体に関しては、同団体と国家(行政機関)並びに国民との関係と、同団体と個々の医師との関係という主に2つの視点から、更に検討を掘り下げることが必要であり、また、法制度面での実現方策についても検討が必要である。医師の専門職自律に関する分科会は、まずは医師自身の立場からこの問題についての見解を速やかに取りまとめることを目的として、医師のみで委員を構成したが、こうした諸問題について検討を行うためには、課題別委員会を設置して、医師以外の様々な分野の専門家の参画を得ることが不可欠である。

このため、同分科会の提言案をも参照しつつ、多角的な検討を通して、現代の日本に相応しい医師の自律的な専門職能団体の在り方と、それを実現するための具体的な方策について、日本学術会議全体としての見解を取りまとめ、社会に対して明確なメッセージを発することが、本委員会の達成すべき結果である。

(3) 日本学術会議が過去行った関連する報告等の有無

- ・ 対外報告 「医師の偏在問題の根底にあるもの - 提言：量から質の医療への転換による克服」(平成19年(2007年)6月21日、臨床医学委員会医療制度分科会)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-t39-2.pdf>
- ・ 提言 「臨床医学会の社会的責任 - 腎・泌尿・生殖医療分野の立場から」
(平成20年(2008年)7月24日、臨床医学委員会腎・泌尿・生殖医療分科会)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-t60-1.pdf>
- ・ 要望 「信頼に支えられた医療の実現 - 医療を崩壊させないために -」
(平成20年(2008年)6月26日、日本学術会議)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-y3.pdf>
- ・ 日本の展望 学術からの提言2010(平成22年(2010年)4月5日、日本学術会議)
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-tsoukai.pdf>

(4) 政府機関等国内の諸機関、国際機関、他国アカデミー等の関連する報告等の有無

- ・ WMA Declaration of Madrid on Professional Autonomy and Self-Regulation
World Medical Association (WMA)
<http://www.wma.net/en/30publications/10policies/20archives/a21/index.html>
<http://www.med.or.jp/wma/madrid.html>

(5) 各府省等からの審議要請の有無

無し。

5. 審議の進め方

(1) 課題検討への主体的参加者

本件設置提案が了承された後に、会長から各部に対して委員の推薦を依頼する。

(2) 必要な専門分野及び構成委員数

すべての専門分野。

各部会員 2 ～ 3 名程度に加え連携会員並びに特任連携会員、計 20 名以内

(3) 中間目標を含む完了に至るスケジュール

日本の医療を取巻く深刻な問題状況に鑑み、平成 23 年 9 月の設置期限にかかわらず、できるだけ早期に報告書を取りまとめることを目指す。

6 . その他課題に関する参考情報

国民の生命・健康に重大な責任を有する医師が自らを厳格に律するための団体・制度は、具体的な形態に違いはあっても、多くの先進諸国に共通して存在しているものである。各国の事例を参考にしつつ、俯瞰的な視点から現代日本社会の特質を踏まえて、我が国に相応しい在り方を検討する。

医師の専門職自律検討委員会設置要綱（案）

平成 年 月 日
日本学術会議第 回幹事会決定

（設置）

第 1 日本学術会議会則第 16 条第 1 項に基づく課題別委員会として、医師の専門職自律検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（職務）

第 2 委員会は、現代の日本に相応しい医師の自律的な専門職能団体の在り方を明らかにし、それを実現するための具体的方策について調査審議する。

（組織）

第 3 委員会は、20 名以内の会員又は連携会員をもって組織する。

（設置期限）

第 4 委員会は、平成 23 年 9 月 30 日まで置かれるものとする。

（庶務）

第 5 委員会の庶務は、事務局参事官（審議第一担当）において処理する。

（雑則）

第 6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

2	
幹事会	108

提 案

AASA 創立 10 周年記念式典への会員の派遣

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 AASA 創立 10 周年記念式典に出席するため、以下のとおり会員を派遣することとしたい。
- 4 派遣者 唐木 英明（日本学術会議副会長、第二部会員）
- 5 開催期間 平成22年10月18日（月）
- 6 派遣場所 ソウル（韓国）
- 7 派遣趣旨 平成 22 年 10 月 18 日から 10 月 22 日の間、ソウル（韓国）において、AASA（The Association of Academies of Sciences in Asia）及び FASAS（The Federation of Asian Scientific Academies and Societies）のシンポジウム等の開催に合わせ、AASA 創立 10 周年記念式典が開催される。AASA 事務局を務める韓国科学技術アカデミー（KAST）より、本式典への日本学術会議代表者の出席依頼があった。アジア地域における国際学術団体の活動状況等の実態を把握し、当該地域における科学・技術の振興を図る上で必要な意見を交換することは、今後の日本学術会議と韓国科学技術アカデミーとの学術交流の在り方のみならず、アジア学術会議の在り方を考える上で非常に有益であると考えられることから、金澤会長代理として唐木英明副会長を日本学術会議の代表者として派遣し、金澤一郎会長からの挨拶代読に加え、出席者との幅広い意見交換等を行わせることとしたい。詳細は別添を参照のこと。

**International Symposium on 'One Green Asia' of
The Association of Academies of Sciences in Asia (AASA)
The Fourth AASA-FASAS
(Federation of Asian Scientific Academies and Societies)
Joint International Conference on 'Science Education in Asia and the Pacific'
and
The Ninth General Assembly Meeting of AASA The Fourth Council Meeting of FASAS**

Hotel Kyo-yuk Mun-hwa Hoekwan, Seoul, Korea
18 - 22 October, 2010

The Association of Academies of Sciences in Asia (AASA) was established in 2000 to promote solidarity and cooperation among the scientific and technological academies in Asia and Australasia and play a central role in cooperative efforts for further developing the region through science and technology. AASA currently has a total of 26 member academies representing 26 countries, respectively. The Federation of Asian Scientific Academies and Societies (FASAS) was organized in 1984 to promote the advancement of science and technology in Asia, to promote great awareness of the role of science and technology in nation building among general public, business, policy and decision makers, and to enhance the contribution and impact of academies and societies in national and regional development. FASAS currently has 18 member institutions.

The Ninth AASA General Assembly Meeting and the

Fourth FASAS Council Meeting will be held in Seoul, Korea on 18-22 October, 2010. During the period, two international conferences will be organized jointly by the Korean Academy of Science and Technology (KAST), the AASA, and the FASAS. One is an AASA International Symposium under the theme of 'One Green Asia', and the other is the AASA-FASAS Joint International Conference on Science Education in Asia and the Pacific under the theme of 'Science Education for One Green Asia'.

This year AASA celebrates 10th Anniversary of its foundation in 2000. The 10th Anniversary Ceremony is to be held on October 18, Monday and it will be composed of Opening Forum to present 'Sustainable Development in Asia' project report and Opening Ceremony commemorating AASA's 10th Anniversary.

● Program at a Glance

Date	Oct. 18 (Mon.)	Oct. 19 (Tue.)	Oct. 20 (Wed.)	Oct. 21 (Thu.)	Oct. 22 (Fri.)
Events	Anniversary of AASA	AASA Symposium	AASA-FASAS Conference	AASA & FASAS Meetings	
09:30 - 10:00		Opening Session	Opening Session		
10:00 - 11:00		Plenary Session (2 Keynotes)	Plenary Session (2 Keynotes)		
11:00 - 12:00		Lunch	Lunch		
12:00 - 13:20		Session 1a Climate Changes	Session I	AASA General Assembly,	
13:20 - 14:00		Coffee	Coffee	AASA Board Meeting,	
14:00 - 14:20		Session 1b Green Growth Technologies	Session II	and	Industry Tour
14:20 - 14:40		Session 2b Environmental Issues			And
14:40 - 15:00					Field Trip
15:00 - 16:00	Registration				
16:00 - 16:30		Coffee	Coffee	FASAS Council Meeting	
16:30 - 16:40					
16:40 - 17:00	Opening Forum	Session 1c CO2 Technologies & Green City	Closing Discussion		
17:00 - 17:20					
17:20 - 17:30	Opening Ceremony				
17:30 - 18:00	Art Performance	Dinner			
18:00 - 18:30					
18:30 - 19:00					
19:00 - 21:00	Dinner				